

テクノス社設立15周年記念パーティー開催

2009年11月27日、参加者60名以上、神楽坂トルコレストラにて盛大に行いました。



非加熱無菌充填のナチュラルミネラルウォーター『奥長良川の秘水』を展開するテクノス㈱は11月27日、「テクノス社設立15周年記念パーティー」を都内のトルコレストランで開催した。関係者を中心に60名以上が出席し、喜びを分かち合った。

冒頭、同社・中川則成社長が挨拶に立ち、ナチュラルミネラルウォーターを介して様々な出会いがあったことを感謝するとともに、設立当初の苦労話や商品に対する熱い思いを語った。続いて来賓代表として東京大学大学院の山野井昇・工学博士が「水素水の現状と展望」について解説した。

数多いミネラルウォーターの中で、注目を集めている商品がテクノス㈱の活性水素水『奥長良川の秘水』だ。同社開発の高速循環式活水装置（特許取得済）を用い、岐阜・奥長良川の天然水を遠赤外線処理と磁気処理したもので、水の分子クラスターが小さく、酸化還元電位が低いため体に吸収されやすい。

活性水素も豊富で、体内の過剰な活性酸素を除去することが期待できる。

テクノス高速循環式活水装置によって水に与えられた電子エネルギーは、ミネラル成分に吸蔵され、ミネラルが水に溶ける時に活性水素を放出する。ボトリングされた製品の効果は、数ヶ月から数年間も持続する。フラナガン博士のコロイド技術（マイクロクラスター）を用いることでフンザ水を再現した。口当たりはまるやかで飲みやすく、弱アルカリ性の超軟水だ。

■ “非加熱無菌充填” で水が生きている。

『秘水』と他のミネラルウォーターとの大きな違いは、“非加熱無菌充填”にある。現在、日本で売られているミネラルウォーターのほとんどは加熱殺菌方式で、海外ではボルドウォーターと呼ばれているもの。水は、沸騰するとおいしさの決め手である炭酸ガスや酸素が無くなるだけでなく、10分で活性水素量も0になってしまう。さらに、高温加熱殺菌充填ではペットボトルから微量のアセトアルデヒド（発ガン性物質）が溶出するという報告もあるから注意が必要だ。



挨拶に立つ中川則成 社長

祝賀会ではトルコのベリーダンスなどのパフォーマンスが行われるなど、数多くのゲストが参加する華やかなパーティーとなった。



東京大学大学院・山野井昇工学博士

現在、全国に 450 以上の水工場があるが、完成度の高い非加熱フレッシュパック充填工場は同社を含め 4、5 工場しかない。非加熱無菌濾過方式のノウハウを持つ企業はほとんどないのが実情だ。“非加熱”はミネラルウォーターの機能性にとって非常に重要で、水が“生きている”ことがポイントになる。

『奥長良川の秘水』



希望小売価格：300 円／2ℓ
150 円／500ml

その機能性の高さと、歌手の西城秀樹さんや、読売巨人軍の長島茂雄終身名誉監督が脳梗塞から復活した時期に飲んでいた水としても話題を呼んでいる。

－ 機能水についての見解 －

テクノス㈱ 代表取締役 中川 則成

①クラスター理論について

水の分子集団が小さいと物質に対して浸透性が高く、これは現象面で確認されています。有機物・硝酸性チッソ等が含まれていない水で、PH 値 7 で測定して、クラスターが小さい水は良い水ですが、硝酸性チッソ・有機物が多く含まれていても、PH 値が 9～10 のアルカリイオン水は、クラスターは小さくなります。このような水は健康には良くありません。核磁気共鳴装置で簡単に測定できます。最近では体内酵素を活性化する水が良い水と主張。㈱生命の水研究所の松下先生の学説です。

②酸化還元電位（ORP 値）について

最近、水素ビジネス商品で酸化還元電位（ORP）の低さのみを強調しているものがありますが、ORP 値が低過ぎるとからだに入ってきた雑菌を殺菌する活性酸素が少なくなり過ぎます。からだには弱アルカリ性が適しています。余剰な活性酸素のみが有害です。ORP 値のみが機能水の指標ではありません。溶存酸素と溶存水素のバランスが大切です。

溶存酸素のない水は死んだ水です。早川交流還元水研究所の早川英雄先生の学説です。
(電気分解方式) 日本医科大学大学院の大田教授 (水素ガス添加方式) 水素水のヒト臨床
テストが少ない。

③マイナスイオンについて

東大の山野井博士の学説ですが、原子核の周囲を回っている電子の数の増減により、酸化－中性－還元状態に変化しますが仮説です。水中でのマイナスイオンの測定が難しい。

④活性水素について

九州大学の白畑教授の学説ですが、これも仮説です。水中での活性水素の測定が難しい。

⑤水素水 (テクノス社の主張)

ミネラル (ケイ素) + 微弱エネルギー (遠赤外線 + 磁気処理)

$\text{Si} + \text{H}_2\text{O} = \text{SiO}_2 + \text{H}_2^+$ ケイ素が (Si) が酸素 (O_2) と結びつきケイ酸 (SiO_2) となり酸化を抑制

$\text{H}_2^+ + 2\text{e}^- = 2\text{H}^-$ (マイナスイオン)

(水素水は体内酵素により活性水素に変化し、活性酸素を消去)

$\cdot\text{OH} + \text{H}_2 = \text{H}_2\text{O} \quad 2\text{O}_2^- + 2\text{H}^+ = \text{H}_2\text{O} + \text{O}_2$

(ヒドロキシラジカル) (スーパーオキシド)

②も③も④も⑤も電子の状態を云っています。物質の酸化と還元状態を述べています。抗酸化力のことです。ひとつの仮説だけでは十分に現象を説明できないのも事実です。

⑥日本電子製ESRによって抗酸化力が測定できます。

⑦まとめ

これまでは水の性質を捉えるのに、水にどんな物質成分が溶け込んでいるかということのみが問題にされてきました。従来の化学は分子構造から物質の性質を説明しようとしてきたがエネルギー伝達という側面からも生命現象を分析しています。自然科学の現象は理論的に解明されていないことが沢山あります。その為に各種の仮説が存在します。論より証拠です。その証拠の実証の為にモニター制度を実施していますので参考にして下さい。



お蔭様で皆様のご支援により、15周年を迎えることができました。

40余年の培った設計・施工技術。

「生命の水」の製造プラントのスペシャリストとして

今後も精進、努力します。

テクノス㈱ 代表取締役 中川 則成